



「長寿万歳！」

「敬老の日」学区で祝福

75歳以上 1518人

いつまでも、地域でお元気に！ そんな願いを込めて、今年も学区は「敬老の日」の式典を開催しました。近年、第1次ベビーブームに生まれた「団塊の世代」の方が75歳以上になり、招待者は増加傾向。地域とのつながり、交流を持つ人は、そうでない人と比べて健康寿命が長いとの調査結果もあります。地域活動が活発な東志賀学区は、まさに、お年寄りが元気に暮らせる町です。



老人会・児島会長 「つながり」元気の源



今春、三溝芳隆さん(93)から学区老人クラブ連合会会長のバトンを受け継いだ児島三郎さん(76)。出席者を代表し、児童から笑顔で花束を受け取りました。

大ベテランの三溝さんに誘われ、還暦前に老人クラブに参加した児島さん。学区トップの後任を打診され、「お世話になっ

てきた尊敬する先輩の頼み。恩返しをしたい」と、二つ返事で大役を引き受けたそうです。

定年延長などで近年、老人クラブの会員数は全国的に減少しています。「市連合会のトップも務めた三溝さんは、ものすごく心配していた」と児島さん。「人間は1人では生きていけないと思う。つながりがあるこそ、元気に過ごせる」。お孫さんの笑顔を励みに、交流づくりの先頭に立つてくれています。

学区の75歳以上は、男性584人、女性934人の計1518人。式典に向けて、それぞれの地域の町内会長さんが対象者に招待状をお届けしました。

式典の準備は日ごろ、地域のために汗をかいている学区や各種団体、町内会の役員が協力。力を合わせていすや机を並べ、高齢者に渡す記念品の袋詰めなどに当たりました。

式典の後はお年寄りが楽しみにしている演芸大会。人気の「KI TA JAZZ！」の演奏や、住民によるフラダンス、カントリィダンス、日本舞踊が披露され、参加者は手拍子を打って楽しんでいます。

た。厳しい残暑が続いた。9月。蒸し暑い会場では、民生委員さんが熱中症対策でお茶を配って回りました。学区の気づかいと優しさを象徴する「おもてなし」で、式典や演芸大会は大盛況のうちに幕を閉じました。

北陵中剣道部 念願の県大会出場！



今月の題字
10月号は東志賀小4年の小池藍君の作品です。満月と紅葉に映える富士山。秋らしいの大作を届けてくれました。イラストの応募は編集部 鈴木まで(連絡先は裏面)

最後の夏 梶村さん・逢坂さん 有終の美

北陵中女子剣道部が市総体で準優勝し、県大会出場を果たしました。市民スポーツ祭も制覇し、3年生は有終の美を飾りました。

部長で大将の梶村愛音さん(3年)と副部長で中堅の逢坂唯さん(3年)は、東志賀小出身の剣士。「市優勝！県大会出場！同じ目標に向かって頑張る良いチームだった」。中

学生最後の夏を満足そうに振り返ります。「練習はきつかったけれど、良い形で終われて良かった」と逢坂さん。梶村さんは「やればやるほど成長できると実感でき、楽しかった」。後を託した後輩には「2年生部員は少ないけれど、真剣に取り組めば必ずうまくなる。頑張って」とエールを送ってくれました。

町の英雄 情報求む

学区の地域新聞「東志賀ヒーローズ」は、地元の明るい話題を大募集中です。情報提供をお願いします。題字のイラストもお寄せください。お問い合わせは編集部 鈴木龍司(アバン第1町内会長) 02-3534-3502

専用メールは、[higashihighaherocom@gmail.com](mailto:higashihigashihighaherocom@gmail.com)

電子版新聞
ここから!



これまでの地域紙「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。



兒子八幡社・例大祭

学区の兒子八幡社で10月8日、恒例の例大祭が開かれ、大勢の住民でにぎわいました。日ごろ、神社の維持、管理をしていただいている氏子総代会さんは、大切な神事を守り続けるため、今年も準備に走り回りました。子どもたちも楽しみにするお祭りの運営は、有志の住民や各町内会も協力。東志賀小5年の河北伍生君も前日の準備に氏子のお父さんと参加し、のほり立てなどの仕事を手伝ってくれていました。河北君は「楽しかったよ」と笑顔。今年も学区の総力で、伝統の神事が営まれました。



住民一丸、平和に感謝

学区の兒子八幡社で10月8日、恒例の例大祭が開かれ、大勢の住民でにぎわいました。日ごろ、神社の維持、管理をしていただいている氏子総代会さんは、大切な神事を守り続けるため、今年も準備に走り回りました。子どもたちも楽しみにするお祭りの運営は、有志の住民や各町内会も協力。東志賀小5年の河北伍生君も前日の準備に氏子のお父さんと参加し、のほり立てなどの仕事を手伝ってくれていました。河北君は「楽しかったよ」と笑顔。今年も学区の総力で、伝統の神事が営まれました。

11月19日(日) 10時~14時 小雨決行
開催場所: 兒子八幡社境内

地元の神社が 居場所づくりの きっかけになってほしい!

出店者募集中!

CHIGOICHI

お問い合わせ先は次の通り。
ちごいち有志の会 天野さん (090・6766・9188)
または、谷口さん (090・9128・2044)
Eメールは cosmos74@gmail.com

クイズ、駄菓子屋、カフェも

東志賀学区の氏神様「兒子八幡社」(志賀町1の65)で開催される「ちごいち」の本番が、近づいて来ました!
11月19日(日) 10時~14時まで境内で開かれます。昨年に引き続き、今年も多数の出店希望や子ども店員の応募をいただいています!
イチョウのきれいな兒子八幡社にぜひ、お越しください。今年には新たに「ちごいちクイズラリー」(参加賞あり)や

11月19日「ちごいち」

「子ども駄菓子屋さん」、「さえあいカフェ」など、子どもからお年寄りまでが楽しめる多彩な企画を用意しています。

おゆずり会もご協力を!

昨年引き続き、今年も会場「ちごいち・おゆずり会」を開催します。まだ使えるけど、使わなくなってしまうもの、ご自宅に眠っていませんか? 不要なものが誰かにとって必要な物かもしれません。おもちゃ、衣類、本、雑誌、レコード、日用品などリサイクル可能なものがありましたら、当日、会場にお持ちください。

お問い合わせ先は次の通り。
ちごいち有志の会 天野さん (090・6766・9188)
または、谷口さん (090・9128・2044)
Eメールは cosmos74@gmail.com

きりりり ②

「ケルン」屋 平野徹さん



肉屋さんの3代目。転機は34歳の時。知人の店で手作りのハムやソーセージ、ベーコンの世界と出会った。「すごく奥深い。面白そうだ」。すぐ行動に移す。群馬県の専門学校に通い、東京の名店で腕を磨いた。すでに家庭を持っていたが、「やりたいという思いが強くて、失敗が怖いとはななかったね」2000年、「育った町で商

ドイツの職人もうなる味 好きなことの奥深さ極める

売をしたい」と、東志賀小の近くに専門店「ケルン」を開いた。追い求めてきたのは、本場・ドイツの味わい。最大のこだわりは、自ら市場で競り落とす肉の鮮度という。みずみずしさは、おいしさの源。肉屋さんだった祖父と父の背中を見て身に付けた目利き力には、自信がある。

研究熱心な姿勢。「おいしい商品を作りたい」という情熱。それらが生み出した看板商品のベーコンや多様なソーセージは、本場・ドイツの国際コンクールで最高の金賞に輝いてきた。

店には毎年、東志賀小の児童が職場見学に来る。「自分が好きだと思ったことは続く。目標を見つけたら、とことん駆けつけてほしい」。子どもたちへのメッセージは、還暦を迎えた自身の経験で感じたこと。「今も試行錯誤の毎日。それが楽しい。自分が『やり切ったな』と思うまで、この仕事を続けるよ」

ソフト&野球 児童を募集

「東志賀ジュニアクラブ」は、白球を追いかける仲間の児童を募集中。問い合わせは、teamHP@sefoom.com の問い合わせフォームから。

